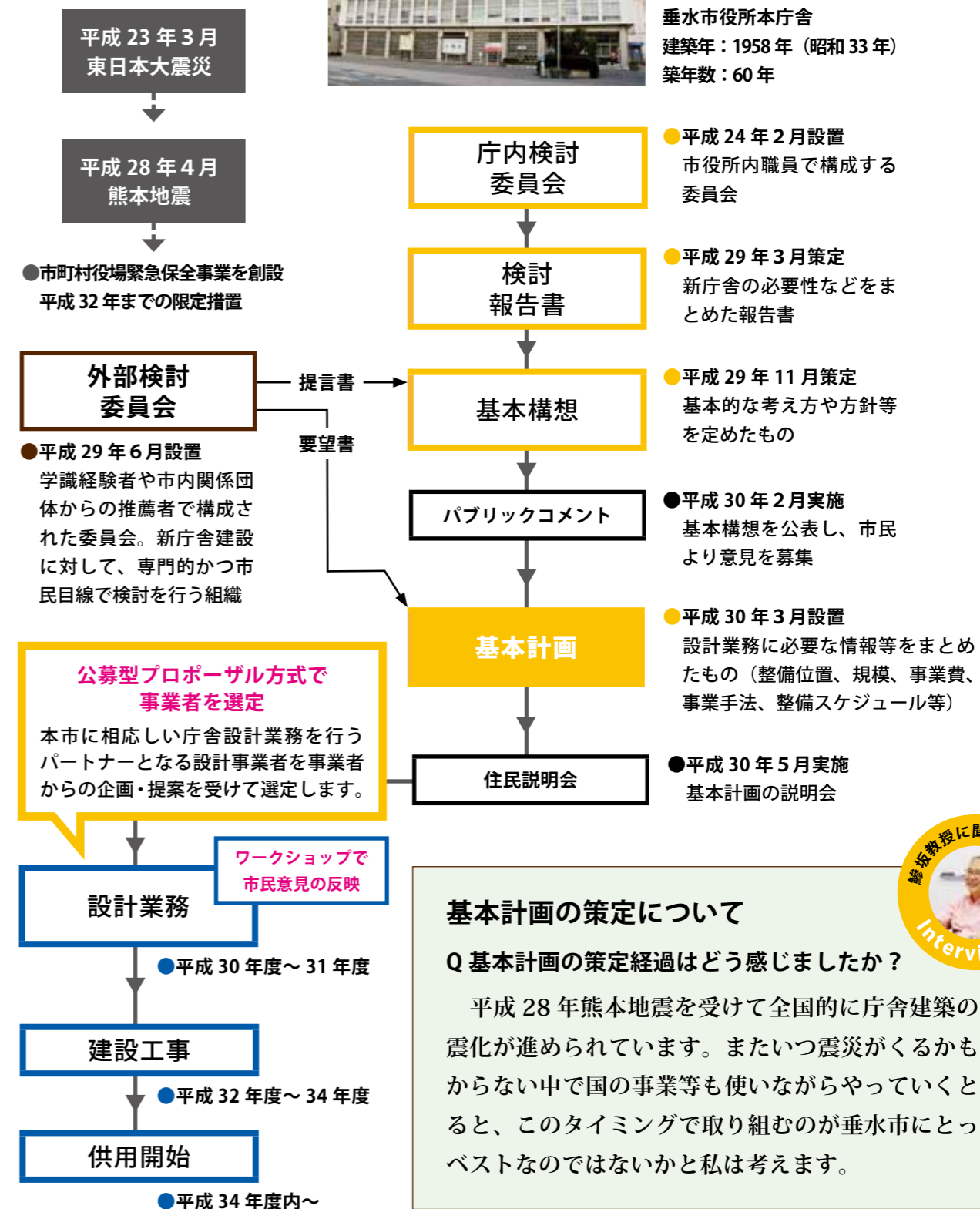


# 新庁舎建設の進め方



垂水市役所本庁舎  
建築年：1958年（昭和33年）  
築年数：60年



**基本計画の策定について**

Q 基本計画の策定経過はどう感じましたか？

平成28年熊本地震を受けて全国的に庁舎建築の耐震化が進められています。またいつ震災がくるかも分からない中で国の事業等も使いながらやっていくとなると、このタイミングで取り組むのが垂水市にとってベストなのではないかと私は考えます。

## 6つの課題と5つの基本方針

現在の庁舎は、基本構想において6つの大きな課題が示されています。これらの課題解決を図り、市民サービスの向上や防災拠点としての役割を果たすため、5つの基本方針を示しています。



**市民向け設計ワークショップ**

基本計画では庁舎の機能について、「基本的必要機能」のほかに「具体的整備機能」についても示されています。今後、市民で意見を出し合う機会としてワークショップを開催し、市民の皆様の声を聞きながら具体化されます。

### 現庁舎6つの課題

❶施設・設備の老朽化	❷バリアフリーへの対応
❸本庁舎の狭あい化	❹市民の安全・安心の確保
❺行政運営上の課題	❻高度情報化への対応

課題解決のために・・・

### 5つの基本方針とその機能

基本方針	基本的必要機能
❶市民に親しまれる、やさしい庁舎	①ユニバーサルデザイン ②窓口・案内機能 ③市民交流・協働機能 ④情報受発信機能
❷市民生活を守る防災拠点としての庁舎	①耐震性・安全性 ②防災拠点機能 ③セキュリティ機能
❸効率的・経済的な庁舎	①執務機能、②ICT機能 ③福利厚生機能 ④施設管理機能 ⑤コスト縮減
❹市民に開かれた議会機能を備えた庁舎	①議会機能、 ②議会情報発信機能
❺地球環境に配慮し、周辺環境と調和した庁舎	①省エネ・環境配慮機能、 ②周辺環境配慮

**庁舎機能について**

Q 新庁舎はどのような機能が必要だと思われますか？

庁舎に若い人も立ち寄れる空間があるといいと思います。例えば勉強ができた、情報に触れたりする多目的なスペースがあってもいいのではないのでしょうか。それから、庁舎の会議室とかも市民に開放して使ってもらおう。これによって、新庁舎が街の中心地の一部という形になって歩行者ネットワークができることを期待しています。また、街のシンボルになるということも大事ですね。ランドマークとは長年地域に親しまれている建物ということだと思います。今の庁舎も記憶としてランドマークになります。

